



山王三丁目児童公園に 防火防災用水槽新設

山王三丁目児童公園に40トン
を貯蔵できる防火防災水槽が設

置されました。
地下に大地震に耐えるコンク
リート製の箱を作り、常時水を
蓄えておき、平時及び大地震時
の火災等に消防隊が消火のため
使用したり、地震時の飲料水に
使用する大切な水の貯蔵庫です。
これにより、この辺りの防火
防災力が強化されました。
工事期間中、ご迷惑をおかけ
し、ご協力いただき有難うござ
いました。

大田区 区政 功 勞 表 彰

- 去る三月十五日、池上会館で
区政に功勞のあつた方々に対す
る表彰が行われました。
受賞された新井宿地区の方々
を分野ごとに紹介します。
- (敬称略・順不同)
- ※文化振興協会役員
遠藤 磯雄
- ※民生委員
金子 泰士
- ※自治会・町会(会長・副会長)
小巻 良
- ※多額寄付者
安藤 澄彦
中村 芳子
- ※区立学校医
倉治 七重
- ※区立保育医
秋田 禮一

◎小さな輪 (いきいき健康)

昭和六十年(一九八五)四月
大森西一丁目にある分庁舎の完
成と共に、前庭で始まったラジ
オ体操。老いも若きも自由に参
加、楽しく運動をしております。
現在最高年齢は九十歳の方で
す。皆早朝から健康に満ちあふ
れています。ユニークなのは準
備体操、フォークダンス、民謡
の輪踊りです。皆の笑顔が確か
められます。月・水・金・土曜
日午前六時十五分から行います



ので、早起した日は気軽に参
加してみてください。

◆◆◆編集後記◆◆◆

☆四月は花の便りもきかれ、職
場、学校にはフレッシュマンが
加わり、新しいスタートとなり
ます。

☆三回にわたり「昔と今」で新
井宿地区を写真で時代の変化を
追ってみました。田中巖様はじ
め多くの方々のご協力をいただ
き有難うございました。

☆五月には本庁舎が移転致しま
す。跡地計画も進められている
よつで、良い施設が出来る事を
期待致します。

☆この「わがまち新井宿」は地
域の情報紙です。思い出、体験、
昔話、我が家の逸話、ご意見ご
感想等、お寄せ下さい。新井宿
特別出張所宛お願いします。

(南雲編集長)

発行 わがまち大田新井宿地区推進委員会
編集 「わがまち新井宿」編集委員会
監修 新井宿地区自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央四一三一一四
三七七六一五三九一

自治会
東自治会
三丁目自治会
四丁目自治会
中央一丁目自治会
中央四丁目自治会
新井宿五丁目自治会
新井宿六丁目自治会
新井宿七丁目自治会
旧新井宿
共同編集

新井宿の史跡 薬師堂

薬師堂の前に立つと、二つの石碑が並んでいる。桃雲寺再興
記念碑と富士講碑である。共に区の文化財指定となっていて、
桃雲寺の碑は、一六六四年建立とあるから、なんと三百数年を
へて尚としたる破損もなく、現在に歴史を伝えているのである。

桃雲寺再興記念碑



碑の高さ一五〇センチ、幅は
六八センチ。碑文を見ると漢文
十九行五百八十六字の長文。楷
書で記され

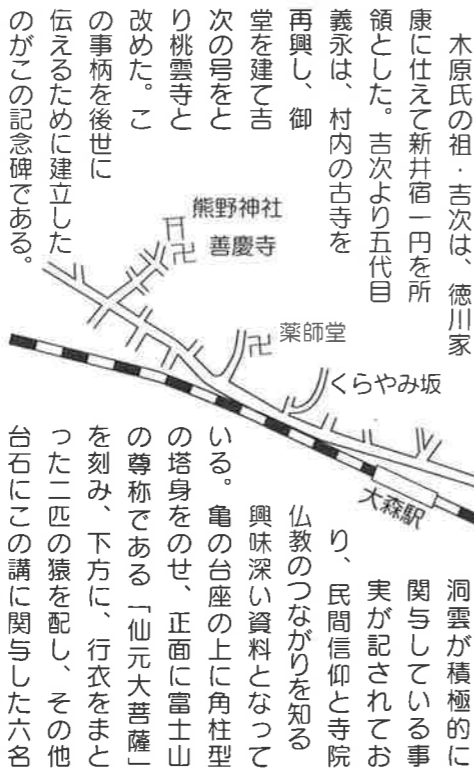
荒蘭之松 千歳其秀 桃雲之寺

(舊)

春風依宿 維祖維考 墳墓新就

(忘)

不志其先 永伝於後
の八句で結ばれている。撰文は
林春齋で、木原氏五代の幕府に
おける業績と薬師信仰の功德、
桃雲寺修復のいきさつ、当時の
新井宿近辺の風景などが刻まれ
てい。



富士講碑



この碑は、一八三二年に新井
宿村の富士講の人々により、中

桃雲寺は明治十三年(一八八

〇)馬込の万福寺に合併され廃
寺となり、薬師堂の建物も戦災
で焼失した。今はその後身であ
る新井宿薬師堂の小さな境内に
この二つの碑が残されている。

(参考文献 「大田区の文化財」
第一集)

区役所屋上から見た池上通り
(池上方面)

昭和39年(1964)日赤病院の大きいのが目立ちます



区役所屋上から見た池上通り
(大森方面)

昭和39年(1964)緑が多く高い建物は目につきません



参考資料
「写された大田区」
大田区行政五十年史
大田区の文化財 第二十集
※角のとれている写真は現在のものです



空から見た大田区役所(平成9年)

わがまち
昔と今
大田区役所編
グッドバイ グッドラック
大田区役所 大田区役所

遠い昔の記憶の中
永遠の文字が
とびやに染まった



昭和31年(1956)



大田区役所の移りかわり

- 昭和7年 大森町役場が大森区役所となる(当時の庁舎は現在の大森警察署にあった)
- 昭和16年 新井宿五丁目545番地(現在の本庁舎所在地)に移転
- 昭和22年 大森区と蒲田区が合併して大田区役所となる
- 昭和36年 大改築 現在にいたる
- 平成10年 5月蒲田駅前に移転

昭和のはじめ、現在区役所のあるところは、草はらと隣接して角のガソリンスタンドまでを含む都南製薬オゾ本舗の会社と私の住まいがありました。庭にはテニスコート、弓道場、茶室などがありました。内玄関が池上通りに面して、角に水飲場があり、上段は人間用、下段は動物用にと父が造ったと聞いています。当時は運送に馬車が使われ改正道路(現池上通り)を往来していました。
戦災で区役所も我が家も焼け残りしました。疎開先から帰ってみると二十世帯もの罹災家族が生活しておりました。
その後、時流に逆らえず、家屋敷がだんだんと大田区に買われましたが、昭和三十五年まではそこに任せておりました。幼い日の思い出があり、結婚・出産など半生を過ごした土地が区役所になり、今また移りゆくことを感慨深く思います。
(芹川 葉様談)

おもいで